



子育て

おか
岡さん（豊平区、35歳女性）共働きで出産を考えていますが、その前提として安心して子どもを産める環境を整えてほしいと思います。

いまい
今井さん（東区、38歳女性）待機児童対策として、保育所を増やすだけでなく、私立幼稚園の保育機能を強化するよう助成をしてみたい。

よしだ
吉田さん（北区、36歳男性）子どもが生まれて、札幌はすごく子育てしやすい環境にあることが分かりました。将来の不安もありましたが、なんだ、大丈夫じゃないかと感じましたよ。



市長から

札幌の合計特殊出生率※は1.06と非常に低いです。その一因には保育所への入所を待つ待機児童の問題があります。保育施設の整備による定員の増加、幼稚園と保育所の連携なども視野に入れて、保育の充実を図りたいと思います。

※一人の女性が一生に産む子どもの平均数



地域のふれあい

さとう
佐藤さん（白石区、69歳女性）夫が倒れ、初めて介護の必要に迫られました。家族が協力し合うことも大切だと思いますが、年を取っても安心して生活できるまちにしてほしいです。

てらかみ
寺上さん（西区、23歳女性）販売店で働いていますが、お店に話をしにやってくる独居の高齢の方が多いです。こういった方が孤独死するという話は耐えられないと感じています。

さいとう
斉藤さん（清田区、58歳男性）学校のような施設でイベントなどを行い、地域の子どもや高齢者が交流できるといいと思います。

よこつじ
横辻さん（中央区、53歳男性）高齢者が生きがいを持って生活できるよう、まちづくりセンターなどを中心にして、高齢者の会合や、地域でお世話をする仕組みづくりができないでしょうか。



市長から

人は孤立感が一番つらいですね。地域で同じ考えや悩みを持つ人同士集まることができれば、孤立感が解消され、よい知恵も生まれるかもしれません。まちづくりセンターを拠点に、仲間づくりや困り事を解決するような活動を支援していきます。

まちづくりセンターとは

市内に87カ所あります。地域にある町内会やボランティアグループなどの情報を提供したり、人や団体のつながりをつくったりすることで、まちづくりを支援しています。

まちづくりのヒントは対話の中に

年齢も立場も違うさまざまな人が話し合いを積み重ねることで、新たな発想や思いもなかった気付きを得ることができます。市では、これからも皆さんの意見を聞き、一緒に悩み、話し合うとともに、そこで生まれた知恵やアイデアをまちづくりに生かしていきます。

市政全般へのご意見、ご提案を受け付けています。

【市民の声を聞く課】

☎ 211-2042 FAX 218-5165

【インターネット市政提案】

HP www.city.sapporo.jp/somu/goiken

